

平成29年度 学校評価（自己評価）集計結果について

過日実施した『学校評価アンケート』について、集計結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、詳細については後日本校ホームページに公開しますので、御意見・御感想等お寄せいただければ幸いです。アンケート結果については、2月20日に開催された第2回学校評議員会で学校評議員の皆様からいただいた御意見等（学校関係者評価）と合わせて、次年度以降の教育活動に活かして参ります。お忙しい中、御協力いただき誠にありがとうございました。

学校長 小松 敦

1 対象・回答数・評価時期

対象・区分	回答数	評価時期
教職員（自己評価）	48	平成29年12月
生徒（外部アンケート）	683	
保護者（外部アンケート）	500	

※ 平成29年度は、7月に中間評価を実施し、年度途中の点検・見直しに取り組んだ。

2 質問項目・評価方法

○項目数 自己評価：21項目、外部アンケート：20項目

○評価方法（実現度評価：4段階）

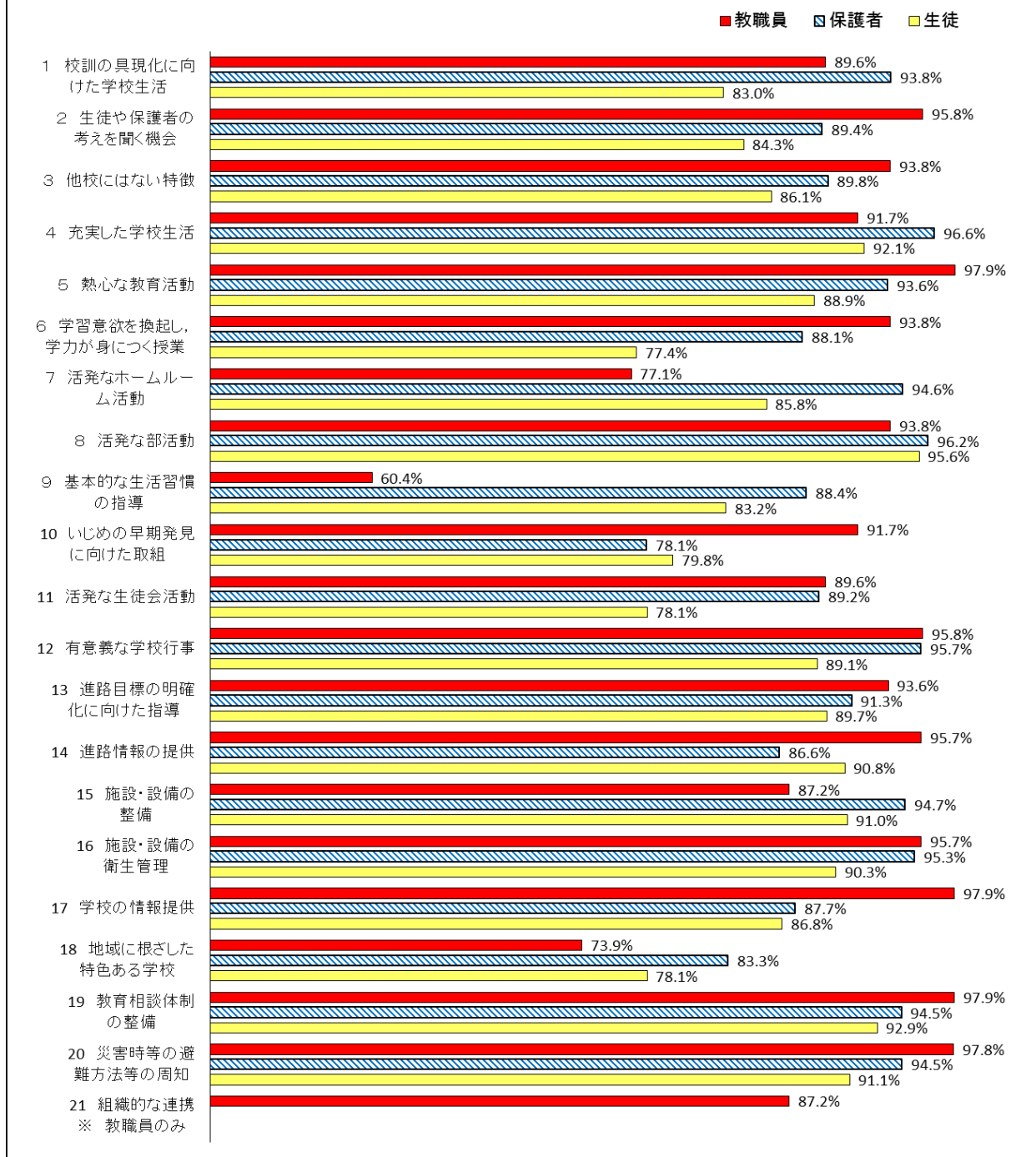
- ・肯定的回答…「1 よく当てはまる」+「2 だいたい当てはまる」
- ・否定的回答…「3 あまり当てはまらない」+「4 当てはまらない」

No	質問項目（1～20は自己評価・外部アンケート共通の内容）
1	生徒は、校訓を理解し、その具現化に向けた学校生活を送っている。
2	本校では、生徒や保護者の学校に対する考えを聞く機会を設けている。
3	本校には、他校にはない良い特徴がある。
4	生徒の学校生活は充実している。
5	本校では、教職員が熱心に日常の教育活動にあたっている。
6	本校では、生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力が身につけられるような授業が行われている。
7	本校では、ホームルーム活動が活発に行われている。
8	本校では、部活動が活発に行われている。
9	本校では、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。
10	本校では、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。
11	本校では、生徒会活動が活発に行われている。
12	本校には、生徒にとって有意義な学校行事がある。
13	本校では、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。
14	本校では、進路に関する情報が生徒や保護者に十分に提供されている。
15	本校では、校舎やグラウンドなどの施設・設備が整備されている。
16	本校では、施設・設備が衛生的に管理されている。
17	本校では、学校からの情報が生徒や保護者に適切に伝えられている。
18	本校では、地域の伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。
19	本校では、教職員やカウンセラーが必要な時に相談に応じる体制ができています。
20	本校では、生徒や保護者に災害・非常時の避難方法や連絡方法が伝えられている。
21	本校では、分掌部や学年、教科等が連携しながら、教育活動に取り組んでいる。（※ 自己評価：教職員対象）

3 自己評価（外部アンケート）の結果（概要）

- 全体的に自己評価及び外部アンケートの肯定的回答の割合は、前年度に比べて増加した。
- 特に前年度より10ポイント以上増加した項目は、「6 分かりやすい授業」（生徒）、「7 ホームルーム活動」（教職員）、「10 いじめ問題」（保護者）、「11 活発な生徒会活動」（生徒・教職員）、「16 施設・設備の衛生管理」（教職員）、「17 学校の情報提供」（教職員）、「20 災害時等の避難方法の周知」（教職員・生徒・保護者）の7項目であった。
- 一部に自己評価と外部アンケートの数値に差が見られるが、関係組織で本年度の取組を踏まえた上で分析し、情報共有を図りながら工夫・改善に取り組んでいく。

平成29年度 学校評価 集計結果 – 肯定的回答の割合(%) –



4 学校関係者評価（第2回学校評議員会）における主な意見

○会議日時 平成30年2月20日（火）午後3時10分～午後4時20分

○自己評価（外部アンケート）結果に対する主な意見

- ・自己評価及び外部アンケートの肯定的評価の割合が、前年度に比べて全体的に高まっており、良好であると思われる。
- ・「6 分かりやすい授業」及び「7 ホームルーム活動」については、自己評価と外部アンケートの結果に差が見られるが、引き続き個に応じた学習指導と不断の授業改善、生徒の主体的な取組をより一層重視したホームルーム運営を心がけていく必要がある。
- ・「18 特色ある学校づくり」については、現在の取組を基本にしながらも機会を捉えて積極的に地域の行事等に参加するなどして、社会参画の意識を醸成していく必要がある。
- ・伝統と校風を大切にしながら、生徒一人ひとりがそれぞれの「文武両道」と「進路目標」を追求していけるような工夫も必要である。
- ・その他、校内の環境整備や防災等に係る危機管理体制の充実を引き続き進めていくことも大切である。